

富山県感染症発生動向速報

(2026 年第 34 週分・8 月 17 日～8 月 23 日)

■今週の主な動向

○インフルエンザの報告数は 2 週連続で増加しています。

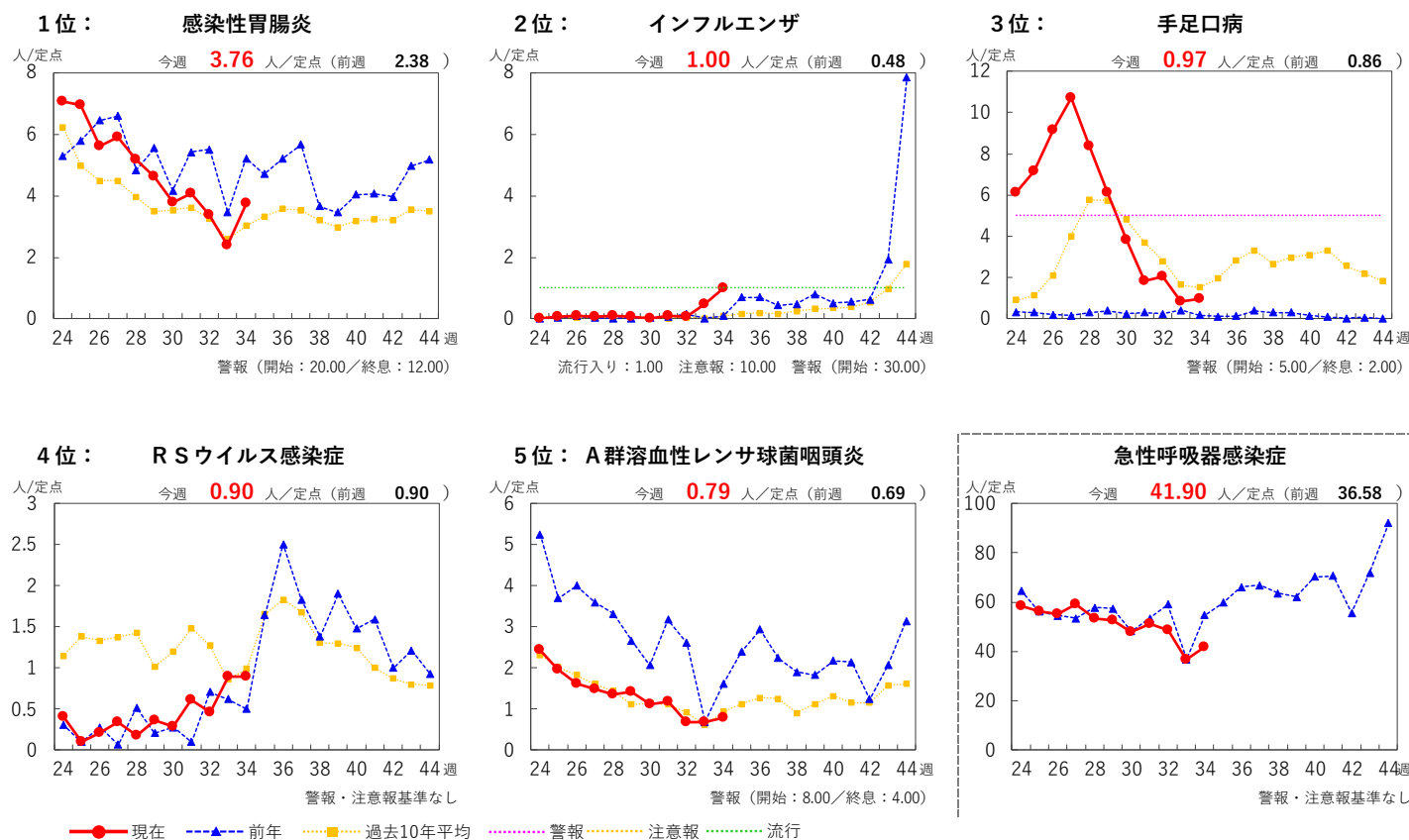
全国的に例年より早期に患者報告数が増加しています。県内定点医療機関からの型別報告では、今週、A 型が 85%を占めています。感染予防及び感染拡大防止のため、手洗いや咳エチケット、換気などの基本的な感染対策を心がけましょう。

○ORS ウイルス感染症の報告数は、第 29 週ごろから緩やかに増加しています。

2 歳以下の乳幼児に多く、主症状は鼻汁、咳、発熱などです。1 歳未満、特に 6 ヶ月未満の乳児や早産児では重症化する場合があります、注意が必要です。定期接種（母子免疫ワクチン）により予防可能なため、対象の妊婦の方は、接種をご検討ください。（今週のインフォメーション参照）

■定点報告の感染症

今週の富山県内上位 5 疾患 + 急性呼吸器感染症（第 34 週・8/17～8/23）

厚生センター（保健所）管内別、直近の推移：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/#a-6>

■全数報告の感染症

- 二類感染症 結核 2 件（①第 32 週診断分：30 歳代、男性 ②80 歳代、女性）
- 三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 2 件（①30 歳代、男性、O157、VT2
②30 歳代、女性、O157、VT 型不明）
- 四類感染症 レジオネラ症 1 件（80 歳代、男性、肺炎型）
- 五類感染症 急性脳炎 1 件（10 歳未満、男性）
侵襲性髄膜炎菌感染症 1 件（70 歳代、女性）
侵襲性肺炎球菌感染症 1 件（80 歳代、女性）
水痘（入院例） 1 件（10 歳代、女性）





母子免疫ワクチンで防ごう RS ウイルス感染症

《 インフォメーション 》

●RS ウイルス感染症

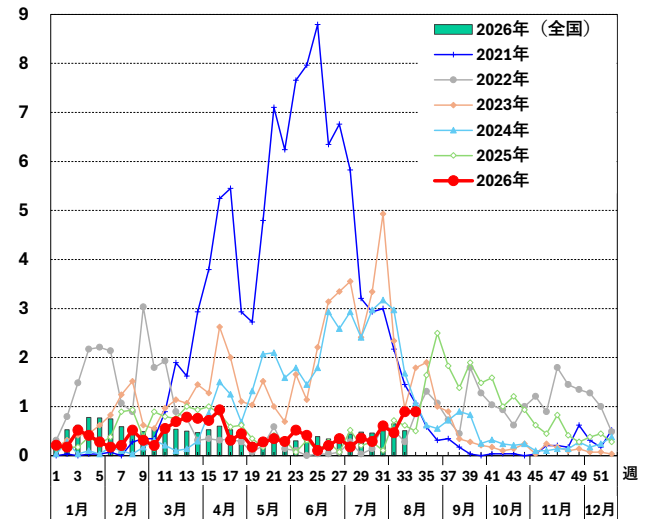
RS ウイルス感染症は、RS ウイルスを原因とする急性呼吸器感染症です。全国の RS ウイルス感染症の患者報告数は、新型コロナウイルス感染症流行前には、夏季から増加し、秋季にピークを迎える傾向がありました。2021～2024 年には春季から増加し、夏季にピークを迎え、流行時期が早くなりました（[IASR 2025;46\(6\):113-115](#)）。今年（2026 年）に入ってから明らかな増加は認められず、第 33 週時点での報告数は 0.51 人/定点でした（図棒グラフ）。富山県でも、概ね全国と同様の流行時期の変化が認められています。2026 年は 7 月から 8 月にかけて概ね増加傾向で推移し、今週（第 34 週）0.90 人/定点の報告がありました（図赤線）。引き続き発生動向を注視する必要があります。

RS ウイルス感染症は、2 歳以下の乳幼児に多く、生後 1 歳までに 50%以上の人が、2 歳までにほぼ 100%の人が感染します。感染から 2～8 日の潜伏期間の後、鼻汁、咳、発熱などの上気道症状が認められます。1 歳未満、特に 6 ヶ月未満の乳児や早産児では重症化しやすく、気管支炎や肺炎などの下気道症状が現れ、入院治療が必要となる場合もあります。低出生体重児や免疫不全、心臓疾患などの基礎疾患がある乳幼児に対しては、抗 RS ウイルスヒト化モノクローナル抗体を投与することで、RS ウイルス感染症の重症化予防が期待できます。詳しくは医療機関へご相談ください。

2026 年 4 月 1 日から RS ウイルスに対する母子免疫ワクチンの定期接種が始まりました。対象は妊娠 28 週 0 日～36 週 6 日までの妊婦の方です。本ワクチンは、妊婦が接種することで、母体内で作られた抗体が胎盤を通じて胎児に移行し、出生直後から RS ウイルスに対する予防効果が期待されます。臨床試験では、生後 180 日までの乳児の RS ウイルスによる下気道感染症に対して 51.3%、重症下気道感染症に対して 69.4%の予防効果が認められています。母体への主な副反応として、疼痛、頭痛、筋肉痛などがあります。現時点では、母体および胎児、乳児における安全性について、重大な懸念は特定されていません（[厚生労働省、医療従事者向けリーフレット](#)）。接種費用は原則無料です。接種場所などの詳細は、お住まいの（住民票のある）市町村にお問い合わせください。

RS ウイルス感染症の主な感染経路は飛沫感染と接触感染です。手洗いや手指消毒、マスク着用などの基本的な感染対策で予防しましょう。

（人/定点） RS ウイルス感染症患者報告数（全国、富山県）



○感染症発生動向調査報告状況（2026年第34週 2026年8月17日～2026年8月23日）

分類		疾患	今週報告分（第34週）						累積報告数（2026年第1週（2025年12月29日）～）					
			新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
全数把握	二類感染症	結核			1			1	5	3	17	8	35	68
		（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く			1			1	5	1	7	6	21	40
	三類感染症	細菌性赤痢											1	1
		腸管出血性大腸菌感染症					2	2	3		6	2	8	19
	四類感染症	E型肝炎									1		1	2
		デング熱											1	1
		マラリア											2	2
		レジオネラ症					1	1	1	2	8	2	14	27
	五類感染症	急性脳炎					1	1	1				2	3
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症									3	1	6	10
		後天性免疫不全症候群（H I V感染症を含む）											1	1
		侵襲性インフルエンザ菌感染症									2		4	6
		侵襲性髄膜炎菌感染症				1		1				1		1
		侵襲性肺炎球菌感染症	1					1	3		7	2	5	17
		水痘（入院例）		1				1	1	2	2		3	8
		多剤耐性緑膿菌感染症											1	1
		梅毒							5	2	9	1	15	32
		破傷風											1	1
		百日咳							1				7	8
		麻しん									4		4	8
急性呼吸器感染症（ARI）定点（48定点）	急性呼吸器感染症（※1）	178	139	704	207	783	2,011	9,803	8,884	34,041	9,480	42,809	105,017	
		25.43	27.80	54.15	29.57	48.94	41.90							
	インフルエンザ	7	4	13	12	12	48	1,464	1,219	3,364	1,448	4,710	12,205	
		1.00	0.80	1.00	1.71	0.75	1.00							
	COVID-19	4	1	10	9	8	32	301	151	372	188	545	1,557	
		0.57	0.20	0.77	1.29	0.50	0.67							
	R Sウイルス感染症		1	17	5	3	26	29	12	196	42	138	417	
			0.33	2.13	1.25	0.30	0.90							
	咽頭結膜熱	1		8	1		10	34	23	258	2	77	394	
		0.25		1.00	0.25		0.34							
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	1	10		10	23	157	202	1,422	229	1,345	3,355	
		0.50	0.33	1.25		1.00	0.79							
	感染性胃腸炎	13	9	2	3	82	109	789	656	1,141	305	3,952	6,843	
		3.25	3.00	0.25	0.75	8.20	3.76							
	水痘			1		2	3	3	17	46	9	112	187	
				0.13		0.20	0.10							
	手足口病	1	2	14	2	9	28	38	178	734	114	1,027	2,091	
		0.25	0.67	1.75	0.50	0.90	0.97							
	伝染性紅斑							8	3	26	11	13	61	
	突発性発しん		1	3		2	6	7	23	111	25	119	285	
			0.33	0.38		0.20	0.21							
	ヘルパンギーナ			1		2	3	18	46	72	17	154	307	
				0.13		0.20	0.10							
	流行性耳下腺炎							3		5	4	8	20	
	流行性角結膜炎				5		5	9	2	15	8		34	
					5.00		0.71							
	基幹定点（5定点）	細菌性髄膜炎											2	2
無菌性髄膜炎								2					2	
マイコプラズマ肺炎								9		3	4	7	23	
	クラミジア肺炎										2		2	
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）			1			1			2	1		3	
				1.00			0.20							
	入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※2）			1		1	2	55	42	51	40	103	291
COVID-19による入院患者		1				1	2	25	18	7	12	60	122	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 急性呼吸器感染症は2025年第15週（4/7～）より開始しました。（参考：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/topics/ari/>）

※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、2025年第36週（9/1～）の集計です。